

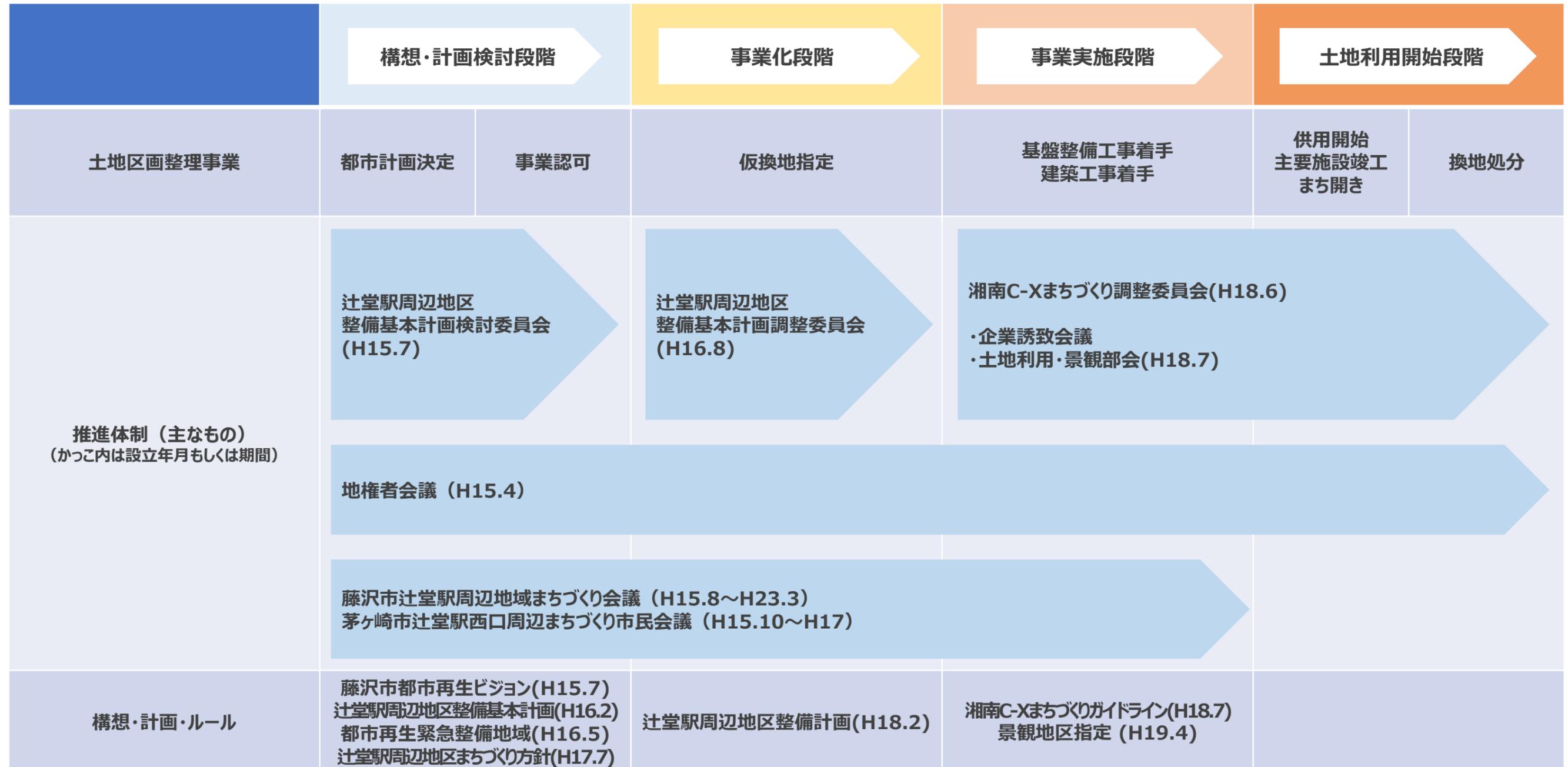
1. 辻堂駅周辺地区（湘南C-X）（開発の進捗に伴い計画調整の体制が変化した事例）

1) 湘南C-X地区の概要

- 平成14年11月、JR辻堂駅北口周辺の民間企業の撤退によりできた跡地に広域的な都市連携の中核となる都市拠点的形成するという都市再生ビジョンを具現化するために、市民・企業・行政が協働してまちづくりを進め、平成24年度をもって事業を完了した。

2) 湘南C-X地区のまちづくり推進体制の概要

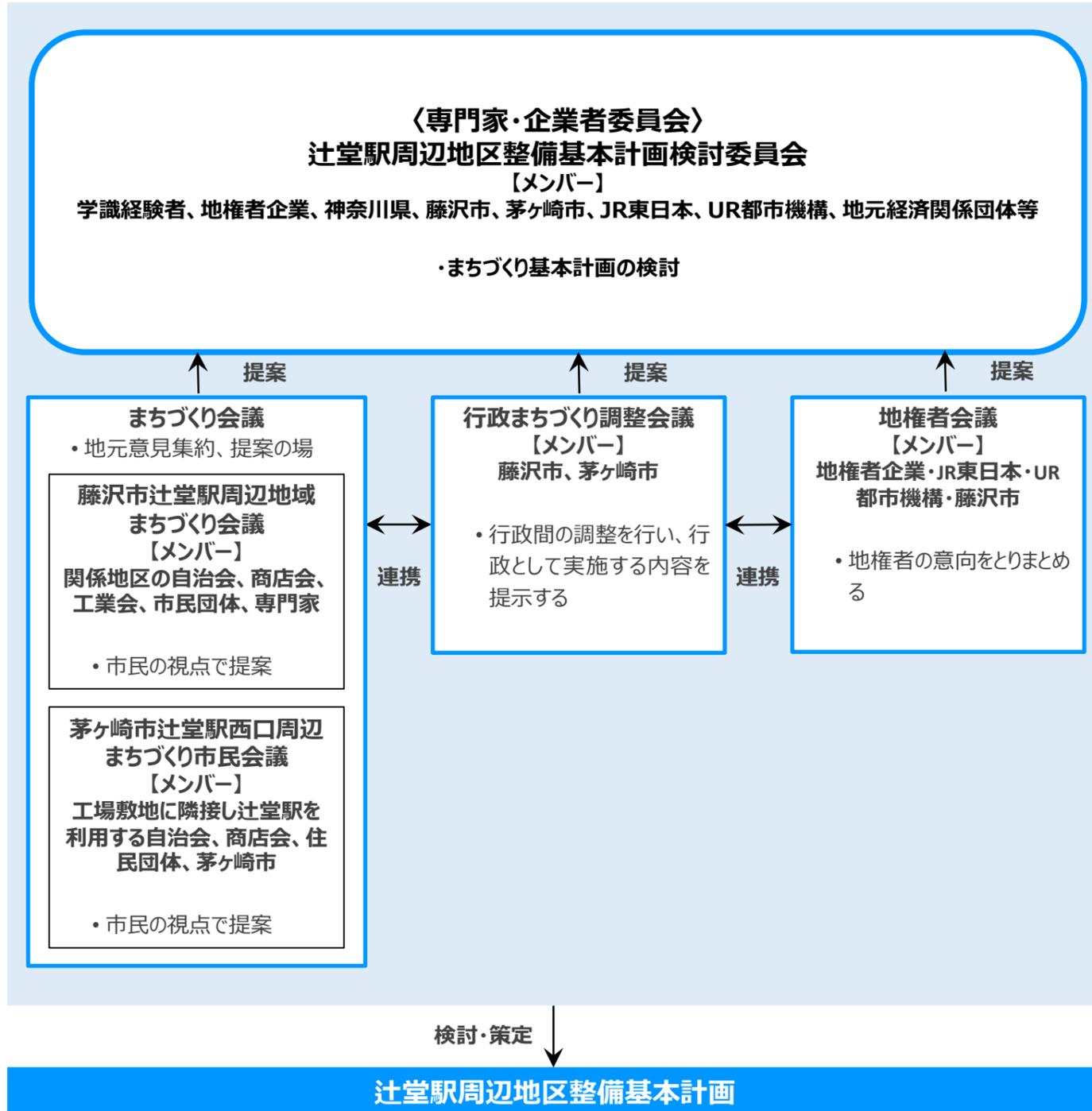
- 藤沢市内部、周辺自治体との連携体制も整えつつ、専門家・企業者からなる組織、地権者組織、市民などからなる組織を立ち上げ、まちづくりを推進してきた。（下図参照）



3) 推進体制

(1) 構想計画検討段階

- まちづくり基本計画を策定するため、辻堂駅周辺地区整備基本計画検討委員会を立ち上げる。
- 当地区のまちづくりに参加する企業や市民等を集めて、2つのまちづくり協議会を立ち上げる。



(2) 事業化段階

- 辻堂駅周辺地区整備計画を策定するため、辻堂駅周辺地区整備基本計画調整委員会（辻堂駅周辺地区整備基本計画検討委員会の後継組織）を立ち上げる。



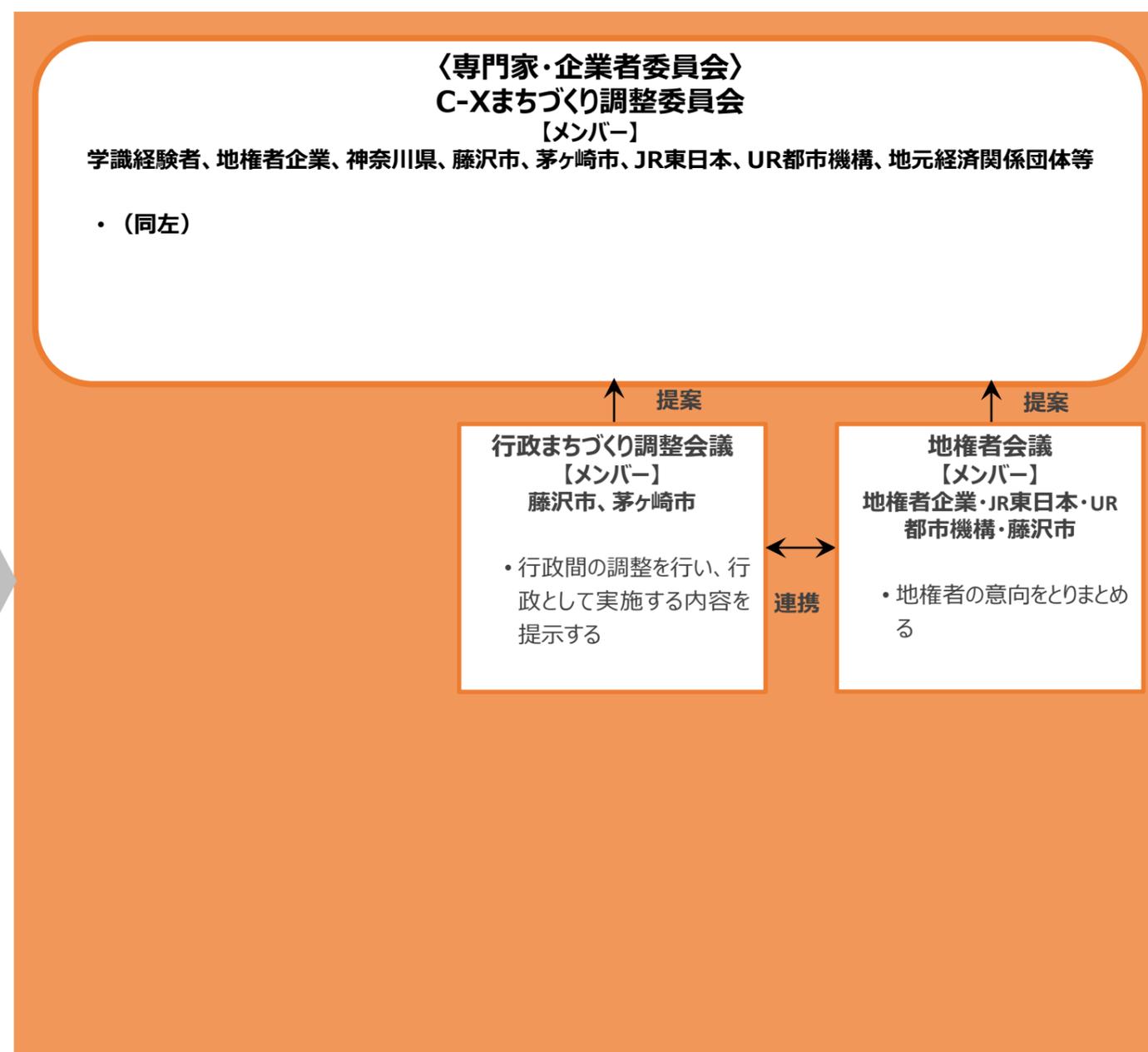
(3) 事業実施段階

- 今後のまちづくりの調整を担う組織として、C-Xまちづくり調整会議（辻堂駅周辺地区整備基本計画調整委員会の後継組織）を立ち上げる。
- 下部組織として、企業誘致の調整を担う企業誘致会議、計画・設計の調整を担う土地利用・景観部会を立ち上げる。



(4) 土地利用開始段階

- 企業誘致の調整を担う企業誘致会議、計画・設計の調整を担う土地利用・景観部会を立ち上げる。



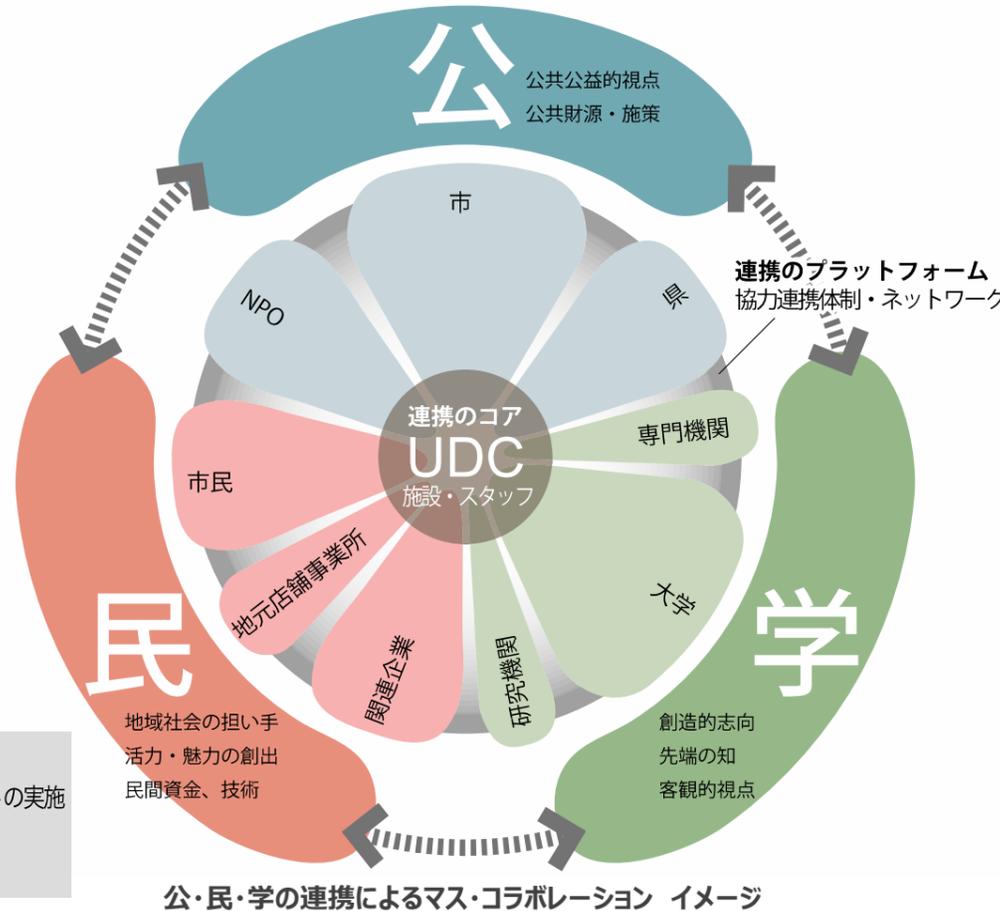
2. 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）（産官学が連携するプラットフォーム型のエリアマネジメント組織の事例）

1) 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）の概要

- UDCKは、東京大学教授であった北澤猛氏の提唱により、行政・民間・大学が参画して平成18年11月に創られた我が国最初のアーバンデザインセンター。まちづくりの企画・調整機能の一部を行政外部に独立した拠点として置くことで、先進的なマシ・コラボレーション（「公・民・学」連携によるコラボレーションの総合化・複合化）によるまちづくりに取り組んでいる。
- UDCKの活動エリアは、千葉県柏市北部のつくばエクスプレス沿線、柏の葉キャンパス駅～柏たなか駅一帯の開発地区とその周辺（約13km²）。エリア内には、東京大学柏キャンパス、千葉大学柏の葉キャンパスをはじめとする研究機関が立地。
- 平成15年度から千葉県が中心となり「柏・流山地域国際学術研究都市づくり事業」に着手し、平成20年3月に、千葉県・柏市・東京大学・千葉大学の4者により「柏の葉国際キャンパスタウン構想」を策定（平成26年3月内容充実化）。公・民・学連携による国際学術研究都市・次世代環境都市づくりを理念に、大学と地域が空間的にも活動的にも融和し、そこから新たな文化や産業が生まれるようなまちづくりを目指し、8つの目標を掲げている。UDCKが事務局となって施策の検討等に取り組んでいる。

柏の葉国際キャンパスタウン構想8つの目標（平成26年充実化版）

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 目標1 環境と共生する田園都市づくり | 目標5 健康を育む柏の葉スタイルの創出 |
| 目標2 創造的な産業空間の醸成 | 目標6 公・民・学連携によるエリアマネジメントの実施 |
| 目標3 国際的な学術・教育・文化空間の形成 | 目標7 質の高い都市空間のデザイン |
| 目標4 サスティナブルな移動交通システム | 目標8 イノベーション・フィールド都市 |



2) 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）の運営体制

(1) 公・民・学のステークホルダーによる共同運営

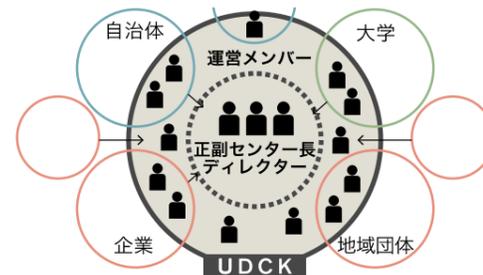
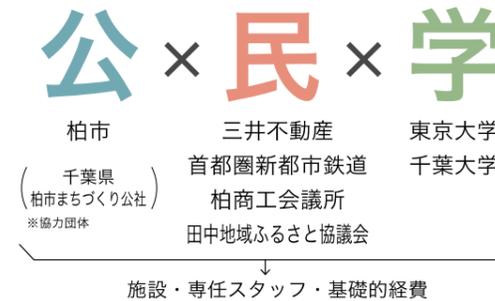
- UDCKは、柏の葉のまちづくりに深くかかわる公・民・学の7つの構成団体による共同運営を基本としています。各構成団体の代表で「運営委員会」を組織し、施設や物品に係る経費、専任スタッフ等の人件費、基本的な活動経費は、各構成団体の持ち寄り（共同負担）により賄っている。加えて関係公共団体や各種専門機関が、協力団体としてUDCKの活動を支えている。
- スタッフについては、センター長（1名）、副センター長4名（うち専任1名）、ディレクター9名（うち専任5名）で運営。ディレクターの担当分野は施設企画・地域連携、エリアマネジメント、特区・SDGs、健康づくり、建築・都市(3名)、アート・コミュニケーションとなっている。

(2) プラットフォーム型の組織運営

- 独立した事業体ではなく、まちづくりに関わる多様な主体が柔軟に関与し、連携するプラットフォーム型の組織運営を志向。
- 正副センター長とディレクターを中心に、まちづくりに係る主要メンバー間での密な情報共有を図るとともに、テーマ別の専門部会を設置・運営し、戦略づくりや個別プロジェクトの企画・調整を行っている。

(3) UDCKを支える二つの法人組織

- プラットフォームとしての任意団体「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」を母体としつつ、法人格を持つ団体として、調査研究・計画提案・デザイン調整等を担う①一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンターと、公共空間の管理運営を担う②一般社団法人UDCKタウンマネジメントの二つの法人組織を設立している。
- 二つの法人は「都市再生推進法人」の指定を受け、UDCK全体の活動と一体性を保ちながら、契約行為や必要な独自事業を担い、柏の葉のまちづくりを支えている。



柏の葉のまちづくりとUDCKのあゆみ

- 1979 米軍柏通信所 全面返還
- 1984 柏通信所跡地土地地区画整理事業 事業認可（～1990）
- 1985 運輸政策審議会において常磐新線（現TX）の整備を答申
- 1991 千葉大学柏農場発足（2003に環境健康フィールド科学センターに改組）
- 2000 東京大学柏キャンパス開設（宇宙線研究所、物性研究所）
柏北部中央地区一体型特定土地地区画整理事業 事業認可
- 2001 柏北部東地区一体型特定土地地区画整理事業 事業認可（～2017）
- 2005 つくばエクスプレス開業
全国都市再生モデル調査の採択（柏・流山地域）

事業実施段階でUDCK設立

- 2006 ららぽーと柏の葉開業
東京大学北沢猛教授の提案によりUDCK設立 第1期施設開設

UDCK関連プロジェクト

- 2007 都市環境デザインスタジオ'06-
まちづくりスクール'07-
ピクニックエキスポ'07
ピノキオプロジェクト'07-
小さな公共空間(PLS)実証実験'07-
- 2008 柏の葉国際キャンパスタウン構想策定
柏の葉キャンパスPC一番街入居開始
CO2見える化'08-
まちのクラブ活動'08-
柏たなか農あるまちづくり'08-
緑園の道高質化協議・整備'08-
柏ITS推進協議会'09-
TXアントレプレナーパートナーズ設立'09-
千葉大学カレッジリンク・プログラム'09-
マルシェコロル定期開催'09-
スマートサイクル（自転車シェア）実証実験'10-17
- 2010 柏の葉キャンパスPC二番街入居開始



UDCK 第1期施設 (2006.11-2010.8)

- 2010 UDCK 第2期施設へ移転
- 2011 世界の未来像をつくる街「柏の葉スマートシティ」コンセプト発表
一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンター設立
環境未来都市・地域活性化総合特区指定
駅前まちづくり協議会設立'11-
マルチ交通シェアリング実証実験'11-'16
街まるごとオープンキャンパス'11-
柏の葉ポイントプログラム'12-17
エリアエネルギーマネジメントシステム'12-
柏の葉交通戦略'13
柏の葉アーバンデザイン戦略'13
- 2012



UDCK 第2期施設 (2010.9-2014.3)

- 2013 景観整備機構・都市再生推進法人指定
- 2014 駅前複合街区ゲートスクエアオープン
UDCK 第3期施設へ移転（東京大学駅前サテライト1階）
柏の葉キャンパス駅西口駅前高質化（UDCK管理開始）
イノベーション・キャンパス（IC）構想'14
未来こどもがっこう'15-
屋台プロジェクト'15-'16 →かけだし横丁'18
- 2015
- 2016 柏の葉アクアテラスオープン（UDCK管理開始）
- 2017 セグウェイ公道走行実験'16-'17
地域環境国際化戦略'17
- 2018 IC地区まちづくりビジョン LEED-NDプラチナ認証'17
ウォークアブルデザインガイドライン'18

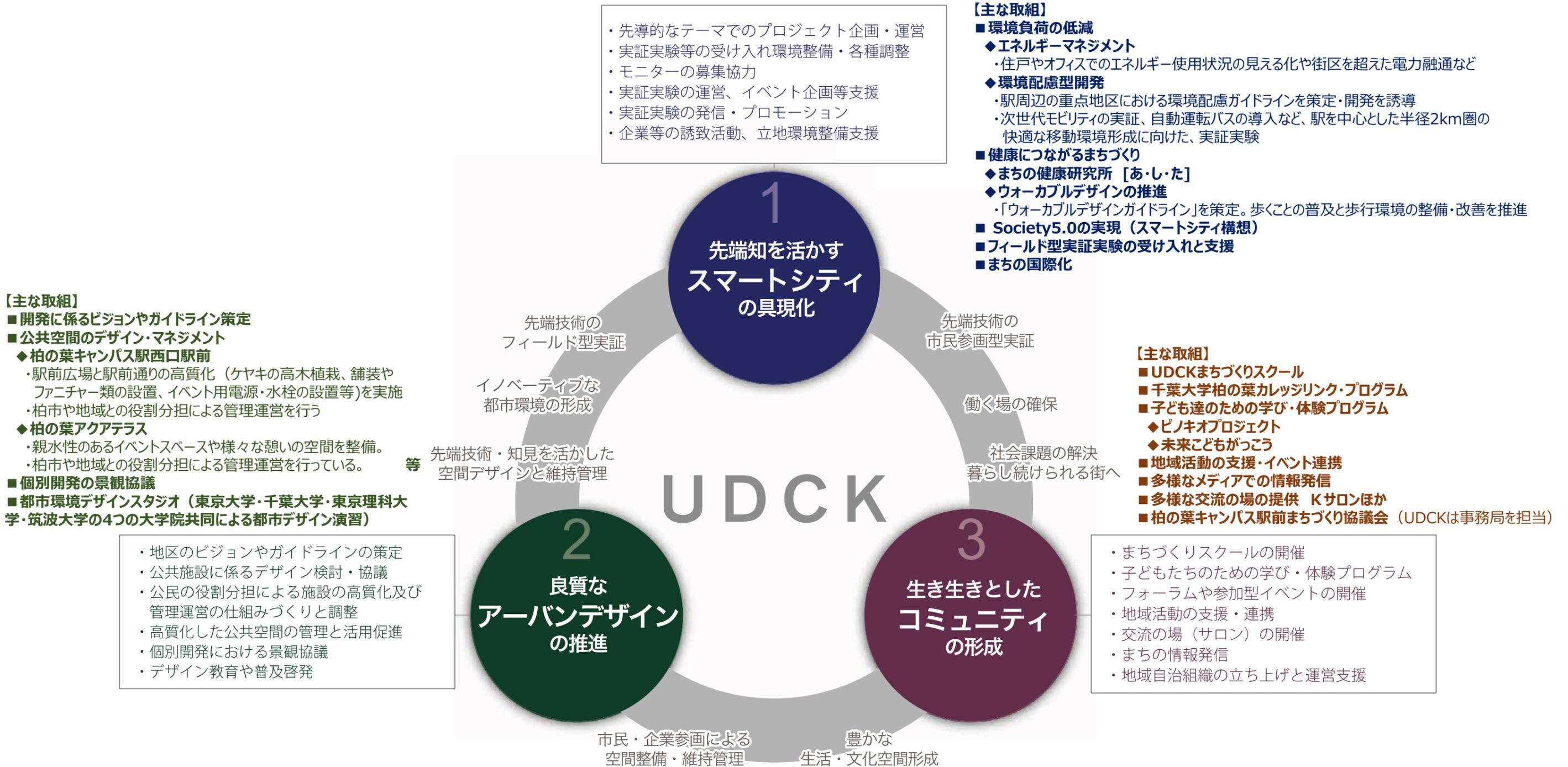
- 2019 一般社団法人UDCKタウンマネジメント設立
産業技術総合研究所柏センター 本格稼働
柏の葉国際キャンパスタウン構想 改定
国土交通省スマートシティ先行モデルプロジェクトに選定

3) UDCKのプロジェクト

- UDCKは、柏の葉国際キャンパスタウン構想の実現を使命としながら、多分野にわたるプロジェクトの推進・支援を行っている。
- その活動テーマは、以下の3つに大別される。

①先端知を活かすスマートシティの具現化 ②良質なアーバンデザインの推進 ③生き生きとしたコミュニティの形成

- これらに総合的に取り組むことで、例えば、新技術を取り入れた先端的なプロジェクトを、実際の空間やコミュニティに落とし込みながら推進したり、あるいは地域コミュニティと共に良質な都市空間のマネジメントを行ったりできることが、UDCKの大きな特長となっている。



※UDCK概要パンフレット（柏の葉アーバンデザインセンターの概要と活動（2019年6月））、書籍「アーバンデザインセンター 開かれたまちづくりの場」から作成